

平成30年6月20日(水)の読売新聞に掲載されました。

顔面神経が異常に興奮する

なぜ起きる?
なぜ起きる?
なぜ起きる?

私たちの顔には、表情を作る筋肉（表情筋）をコントロールする「顔面神経」や、知覚をつかさどる「三叉神経」などが走っており、いずれも脳の中にある脳幹につながっています。表面は、「龍鞘」と呼ばれる薄いカバーで保護されていますが、脳幹とのつなぎ目には幅1~2ミリほどの隙間があります。

脳神経の周辺にある血管が中高年になって曲がり、たまたま龍鞘のない部分に接触し激で神経に異常な興奮が起き、顔面けいれんや三叉神経痛を招きます。

三叉神経痛については、近くにできた脳腫瘍などが原因になることもあります。

「顔面けいれん」と、鼻や口の周りが痛む「三叉神経痛」は、発症の仕組みや治療法は同じです。別の病気と間違えられて診断が遅れるケースが少なくないので、それぞれの特徴を知っておくことが大切です。（山崎光祥）

虫歯・目の疲れと誤認注意

患者の多くは「ビリビリ

二叉神経痛は?

最初に症状が出るのは下のまぶたで、一定の時間おきにまぶたで、表情筋の制御がきかなくなります。最初に症状が出るのは下のまぶたで、一定の時間おきにピクピクします。病気でなくとも目が疲れた時に似た症状が出るので、見過ぎされがちですが、顔面けいれんでは、ピクピクする範囲が下の方に少しづつ広がりながら強まり、顔の半分がゆがんで目が開けられなくなります。このようなけいれんが常に続けます。人前に出るなどして緊張した時に症状が強まるという特徴もあります。

初期には、虫歯と紛らわしいので注意が必要です。おかしいと思ったら、脳神経外科を受診しましょう。が顔に当たっただけでも激痛が走るようになります。

手術以外の治療法では、顔面けいれんの症状がある場所の筋肉に少量の「ボツリヌス毒素」を注射する方法があります。手術を進めます。



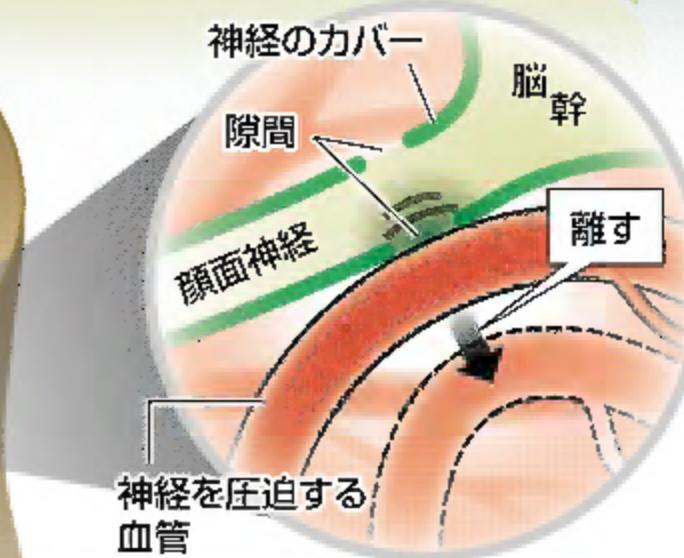
近藤明憲
城山病院脳神経減圧術研究所長

治療が遅れるほど血管は曲がり、手術が難しくなります。顔面けいれんの場合は筋肉の萎縮(いしゅく)が進みます。下のまぶたのけいれんが止まらず広がってきた、または経験したことのない電撃的な痛みを感じたという時は、すぐに脳神経外科に行つてください。

手術で神経圧迫解消

どう治すの?

ます。ただ、効き目は3か月しか持続しないので、何度も再治療が必要になります。三叉神経痛に対しては、放射線治療の「ガンマナイフ」も有効ですが、3割程度は発します。

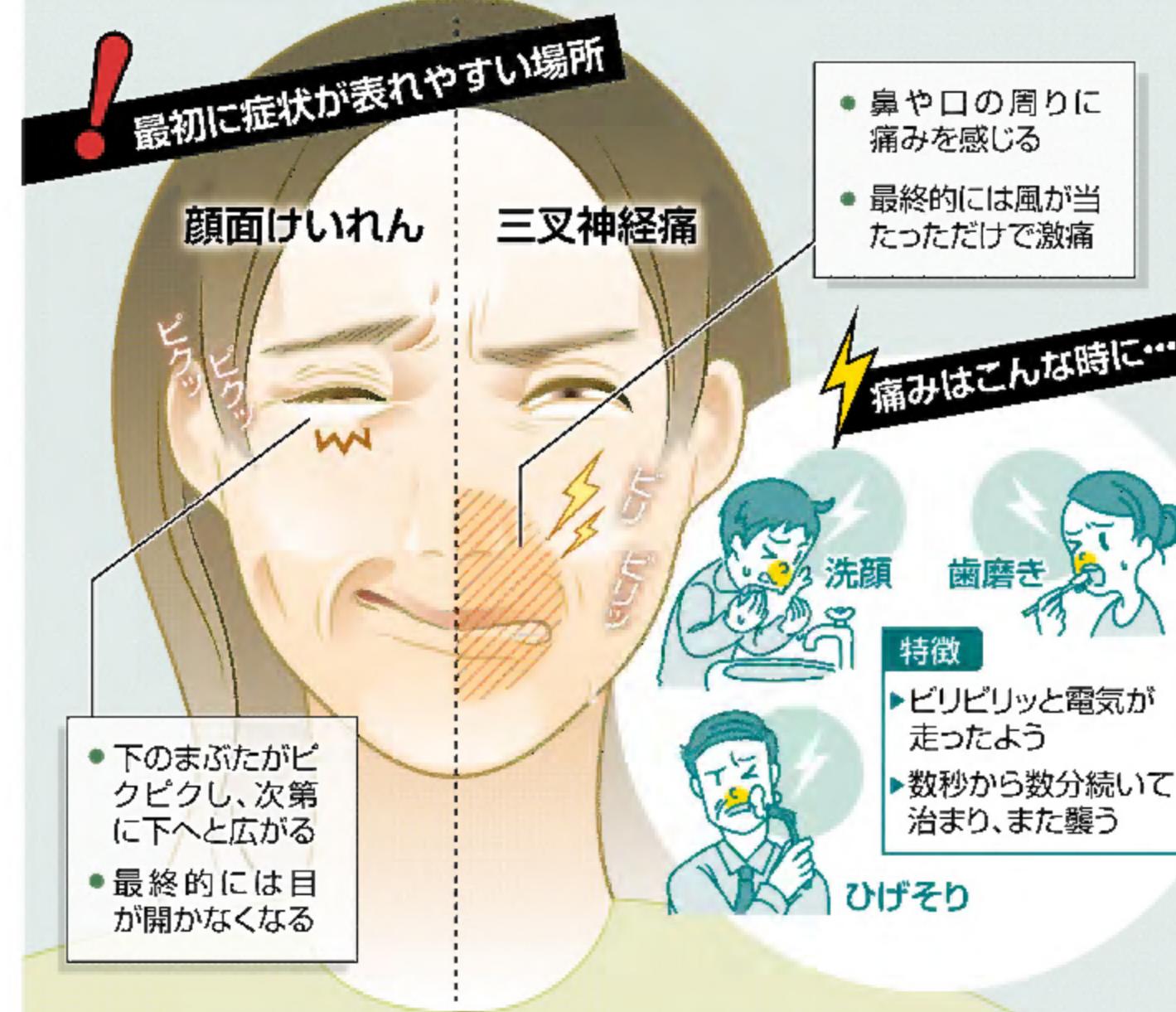


デザイン:齊藤晴奈



顔のゆがみと痛み

顔のゆがみと痛み



- 鼻や口の周りに痛みを感じる
- 最終的には風が当たっただけで激痛

痛みはこんな時に…



- ▶ ビリビリッと電気が走ったよう
- ▶ 数秒から数分続いて治まり、また襲う

